

事業名称	
事業名	奥地保安林保全緊急対策事業
整理番号	23-1
事業の種類	山腹工事
市町村名	東筑摩郡 朝日村
箇所名	野俣沢
事業年度	平成23年度～平成27年度
事業概要	
目的	奥地水源地域の源流部に位置する大規模な崩壊地に対して初期緑化を導入するための治山工事を行うことで、水源かん養や土砂流出防止、そして荒廃地の拡大防止を目的とする。
計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	本数調整伐 4.93ha
関連する事業計画	特になし
その他特記事項	特になし
関係法令等の規制	
自然環境保全地域等の指定状況	なし
土地利用規制の状況	森林法の保安林等
その他	なし
環境要素	
環境配慮の方針	
大気環境	排出ガス対策型の車両や機械を採用する。 低騒音・低振動型の建設機械を採用する。
水環境	チェーンソーを使用する際は生分解性チェーンオイルを使用する。 水の循環使用等により排出負荷を低減する。
地形・地質	地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。 工事により裸地化する箇所は早期の緑化・植栽を行う。 工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。 工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。 法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。 工事による地形の改変面積を最小限にする
野生動植物	自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。 水際部を保全し、自然植生の連続性を確保する。 重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事を出来るだけ避ける。 自然石、自然素材又は多自然型製品等動植物への負荷の少ない素材を使用する。
景観 文化財等	周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。 天然記念物(動物)の繁殖期の工事を出来るだけ避ける
廃棄物・建設残土	建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。 自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。
省資源・省エネルギー・ 温室効果ガス	低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。 点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	大気環境	①想定される大気汚染の原因及び大気汚染の防止に係る配慮事項を公共事業環境配慮書において明らかにしてください。 ②航空緑化工に伴う騒音対策及び事前広報に留意してください。	①大気汚染の原因としては使用する建設機械などからの排出ガスが想定されます。このため、施工現場にて使用する建設機械は排出ガス対策型を使用するように配慮します。 ②騒音対策として仮設ヘリポートを施工現場直近に設置することで集落上空の飛行を低減するとともに、事前に地元自治体をとおして広報を行うよう配慮します。
2	野生動植物	在来種による緑化の検討や帰化植物の持込防止により生態系が改変されないように留意してください。 また、航空緑化工により河川環境へ負荷を与えないように配慮してください。	・航空緑化のための試験を実際の施工区域を試験地として平成21年度から継続して実施しています。この試験では施工区域内において在来種を基本とした様々な種子や無種子タイプを含めた緑化材の組合せを調査しており、これらの結果を反映させて現地に最も適合し且つ生態系に配慮した最適な緑化資材となるように配慮していきます。 ・航空緑化に際しては緑化資材が河川に直接流入しないように配慮します。
3	文化財等	①天然記念物であるカモシカに留意してください。 ②施設計画箇所にて天然記念物のクモツマキチョウが生息又はその食草が群生するなど生息適地と思われる場合は、関係機関と調整のうえ施工に際し配慮をしてください。	①事業実施区域には、カモシカのほか猛禽類の生息が確認されているため、繁殖に影響のないように航空緑化工は9月以降の施工とするよう配慮します。 ②関係機関と調整を行い必要に応じて現地調査を行うなどして専門的見地からの意見を反映させるよう配慮します。 また航空緑化の施工においては河川・溪床を施工範囲から外すことで食草の繁殖適地の確保に配慮します。